



- [註] ア・サ…………アンダーハンド・サーブ
 ア・レ…………アンダーハンド・レシーブ
 ア・ト…………アンダーハンド・トス
 ス パ…………スパイク
 ワ・レ…………ワンハンド・レシーブ
 フ・サ…………フローター・サーブ

つぎに、文献研究などで構造的にとらえられている技能（サーブ、パス＝レシーブ、トス、スパイク、ブロック）が、各学年段階の生徒のゲームのなかで、どのようにプレーされているかを明らかにするために、逐次記録の結果を「技能の様相の観察記録用紙2」にまとめた。

さらに、これらの技能が、ゲームのなかでどのように組み合わせられてプレーされているかを明らかにするために、逐次記録の結果を「返球の様相の観察記録用紙3」に整理した。

返球の様相の観察記録用紙 3

返球の様相	パス →	パス・パス →	パス・パス →	スパイク →	パス・パス・スパイク →	パス・トス・スパイク →	合計
成功返球	●●●●●	●●	●●●●●	●●●●●	●●	●●●●●	90
失敗返球	×××××	×××××	×××××	××	×××××	×××××	73
成功返球数	29	27	11	8	7	8	90
失敗返球数	40	12	9	2	5	5	73

[註] パス→は、相手から送られて来た一本目のボールをパス（オーバーハンド、アンダーハンドなど）で返球したことを表わしている。パス・トス・スパイク→は、相手から送られて来た一本目のボールをパスし、それをトスにして、スパイクで返球したことを表わしている。

●……成功本数 ×……失敗本数

技能の観察記録用紙 2

技能 様相	サーブ				パス（レシーブ）			トス				スパイク			ブロック	合計				
	アンダー	オーバー	フローター	合計	アンダー	オーバー	ワンハンド	オーバー	アンダー	二段		ダイレクト	二段	三段						
成功試技数	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●
失敗試技数	×××××	×××××	×××××	×××××	×××××	×××××	××	×	×	×			×	×	×	×	×	×	×	×
小計																				
成功	38	20	42	100	125	32	1	8	5	9	3	8	7	8	0	206				
失敗	14	11	22	47	50	5	2	1	1	1	0	2	5	5	0	72				